

# ワクティブ通信

第19号  
2025.4

📢 今月の表紙 鳥居由香里さん（小牧災害ボランティアネットの会代表）

小牧災害ボランティアネットの会は、行政や各種の団体連携の防災訓練や啓発活動をして、地域防災活動と災害時のボランティア活動を続けています。設立1998年 / 会員数34人

## 活動をはじめたきっかけ

1995年の阪神淡路大震災です。テレビで連日報道される被災地の様子に「これは他人事ではない」と強く感じました。当時幼い2人の子どもがいたので、子どもたちを守るためにも、また自分たちの街を自分たちで守るためにもボランティアを始めようと思ったんです。

## 思いを行動に移した経緯

その頃、小牧市でも災害ボランティアコーディネーター養成講座が始まりました。私もすぐに申し込んだので、申込み順で1番になったんですよ(笑)。その講座を受けたメンバーで会を立ち上げました。2000年の東海豪雨の時は近隣の支援センターと協力して全国から集まった約5000人/日のボランティアをコーディネートしました。でも現場に行かないと分からないこともたくさんあるので、自身もボランティアとして被災地へ行くようにしています。その経験が会員の情報源にもなるし、今様の活動ができるようにもなりました。



啓発イベント

災害ボランティア  
支援センター訓練

## コーディネートをする上で気をつけていること

当事者の立場に立って考えることが一番大事だと思っています。例えば被災地で家の片付けをお手伝いするとき、捨てざるを得ない物が多数出ます。それを“ゴミ”と呼んだら持ち主は悲しい気持ちになります。当事者にとっては思い出の詰まった“宝物”ですから。なんでもそれぞれの当事者の立場になって、寄り添って行動する必要があるということ。をコーディネートする際にボランティアの方々に話すようにしています。

## 今後の願い

災害に関心のある方やコーディネーターを増やしていきたいです。それが地域の減災に繋がります。そのために当団体も会員を募集しています！今は知識がなくても会員になってから学べば良いですよ。また、依頼があれば各種の防災講座を行っています。市民まつりや他のイベントでも啓発活動を行っています。災害時は全員が被災者になりますから、誰ひとり取り残さないためにも、各自で出来ること・助けてほしいことを日頃から考えてもらい“自助”について伝えていきたいです。

# 令和7年度助成金のお知らせ

## ■地域に還元チャレンジ助成金

市民活動団体の活動のみならず、生涯学習や趣味的な活動を行う団体がこれまで培ってきた“学びの成果を地域に還元”する活動まで助成対象を広げるにより、生涯学習や趣味的な活動から公益活動への展開を促すとともに、生きがいつくりと支え合いの地域づくりを促進することを目的とした支援制度です。

助成金額	回数	補助率	対象経費
5万円（上限）	1団体につき2回まで	100%	活動準備、運営、具体的な活動に要する費用

## ■市民活動助成金

現在行っている活動を活性化するための取組みをしたい団体への助成（団体助成）や他の団体と協力して取り組む事業などへの助成（事業助成）を行っています。

部門	助成金額	回数	助成率	対象	対象経費
団体助成 (ひろげる部門)	10万円 (上限)	1団体につき3回まで	1回目：80% 2回目：70% 3回目：60%	市内で活動を継続し、団体の強化や会員の拡大、活動の活性化を目指す団体に助成	団体の運営、組織強化、具体的な市民活動に要する費用
事業助成 (つなげる部門)	20万円 (上限)	1事業につき3回まで	1回目：80% 2回目：70% 3回目：60%	登録団体が実施するまたは登録団体と他組織（団体、企業など）が協働して実施する先駆性・創造性がある新たな事業経費を助成	助成対象事業の実施に係る費用

【応募資格】 小牧市市民活動推進条例に基づく「市民活動団体」として登録していること。

【受付期間】 5月1日（木）（必着）までに、ワクティブこまきに提出してください。

※必ず事前にご相談ください。

※詳しくは、支え合い協働推進課、ワクティブこまきに設置してある募集要領をご覧ください。

（市・ワクティブこまきのホームページにも掲載しています）

## まちづくりはじめて講座「こまき未来ビルダーズ(全3回)」を開催しました

自分の特技や趣味を社会のニーズと組み合わせ、やってみたいプロジェクトを考えるこまき未来ビルダーズを開催しました！最終日には現在活動中の方々からアドバイスをいただきました。

今年度は趣味が同じひとで集まれる場をつくる居場所づくりや幼少期にいろいろな体験を！などさまざまなプロジェクトのアイデアが生まれ、実際にやってみたいとの声も挙がりました。



講座の様子



参加者一同

## こまキッズミニタウン「こどものまち」を開催しました

「こどものまち」とは、「まち」を模した遊びのプログラムで、日本国内約200カ所で継続的に取り組まれています。こどもたちの発想で仮想のまちを創り、こどもの創造性や主体性を育み、社会の仕組みを学ぶキャリア教育事業です。

小牧市では、企画運営の中心を高校生～20代の若者が担う組織体制を組み、育成プログラムを実施しています。子ども、そして若者のまちづくりへの関心を高め、小牧市の抱える課題の一つである「若年世代の人口減少」と、市民活動団体の抱える「社会貢献に取り組む担い手不足」の課題解決を目指します。



中学生リーダーの事前ミーティングの様子



参加者全員の集合写真

### ● 小学生実行委員（小学校4～6年生）

当日参加者のお兄さんお姉さんとしてサポート。実行委員で事業の内容を確認し、当日参加者のこどもたちにアドバイスが出来るように準備しました。

### ● 中学生リーダー（中学生）

基盤ブース（市役所やハローワーク等のまちの仕事）の内容を前年度よりよくするために職場見学を行い、実際に働く人の話を聞きまちに反映させました。

来てくれた子とスタッフも含めているんな学年の人と関わった！下級生や大人と話せて楽しかった。

### ● 運営マネージャー（高校生～若手社会人）

シミュレーションを行ったり、実行委員会を10回行い、前年度の課題の修正やマニュアルの作成など、こどものまちが成功できるように裏方としてサポートしました。

環境を変える一歩を踏み出す勇気を貰うことが出来た！子どもたちの動きに対して臨機応変に対応したりと、周りのためを思った行動をするようになった。

本番にはボランティア含め1日目は147人、2日目は162名が参加する大イベントとなりました。

## ファシリテーショングラフィック講座を開催しました

「ファシリテーショングラフィック」とは何のことかご存じですか？

話し合い内容を文字や図形を使ってホワイトボードや模造紙に表現する手法で、意見がまとまりやすい、達成感が高まる、話し合いが活性化するなどの効果が期待できます。

実際に体験してみると「絵を描くのが苦手だったけど、コツさえつかんだら意外と簡単」「自分の意見がグラフィックによって残るのが嬉しかった」などの声が上がりました。

皆さんの満足度は非常に高く、参加者同士で自主的に今後勉強会をしようという流れになりました！

参加者同士の実践風景



講座の様子

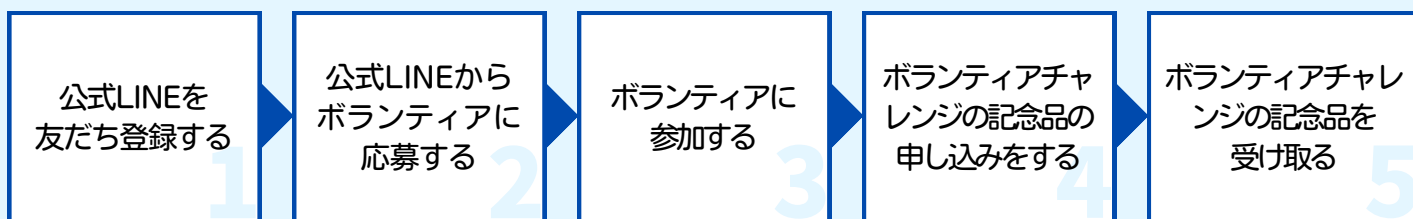


小牧市制70周年記念

## ボランティアチャレンジキャンペーンのお知らせ

小牧市では、市制70周年を記念して公式LINE「ボランティア情報配信ワクティブこまき」（以降「公式LINE」）を通じて、ボランティア活動をされた方へ記念品として2,000円分のプレミアム商品券をプレゼントするボランティアチャレンジのキャンペーンを実施中です！  
この機会に、ボランティア活動に参加してみませんか？

### ボランティアチャレンジの申込手順



※ 記念品の申し込みは令和8年1月31日までに行ってください。

※ 記念品の受け渡しは、令和8年の2月を予定しています。

また、ボランティアチャレンジの対象となるボランティア活動も募集中です。ボランティアの募集をされる場合は、公式LINEを活用したボランティア募集をご検討ください！

☑ 「ボランティアチャレンジ」の詳細については、[こちら](#)



☑ 公式（ボランティア情報配信）LINEの友だち登録は[こちら](#)



## 小牧市の市民活動に関することは ワクティブこまきへご相談ください！

活動する団体を探したい 助成金を探している 活動の困りごとを相談したい 活動する場所を探している

### 何でも気軽にどうぞ!!



こまき市民交流テラス

## ワクティブこまき

こまき市民交流テラス ワクティブこまき 〒485-0041 小牧3-555 ラピオ2階  
☎：0568-48-6555 FAX：0568-48-6556 ✉：wactive-komaki@grace.ocn.ne.jp  
開館日：月～土/10時～21時 日/10時～17時30分  
休館日：第3火曜日とその前日の月曜日（月曜日が休日の場合は営業、水曜日が休館）